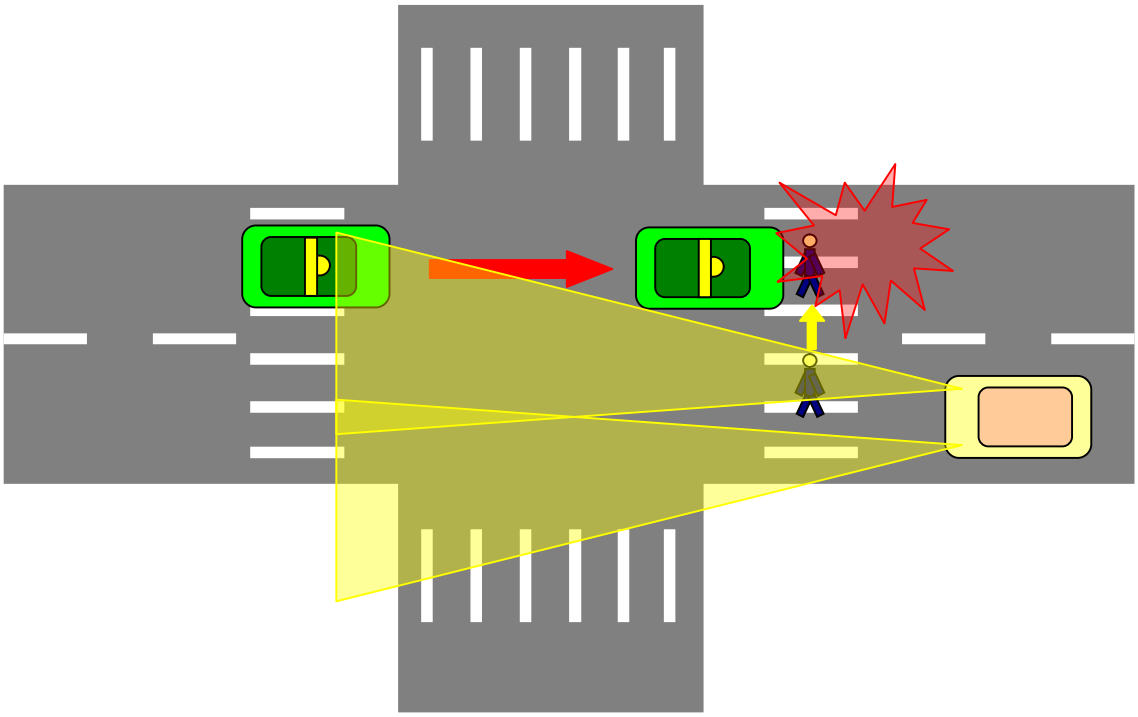
タクシー事故事例	
事例1．信号機のない交差点において歩行者を撥ねた事故	
発生時刻　天候	午後6時頃　曇り
道路状況	都道府県道　制限速度40km／h　乾燥路面　事故時の速度50km／h
種別・用途・形状	小型　乗用　箱形
事故種類	死傷事故
損害の程度	1名重傷

◎事故の概要
　当該タクシーは、片側1車線の市道を走行し、信号機のない交差点に進入したところ、対向車のライトと横断歩道上の歩行者が重なってしまい、歩行者の発見が遅れてしまったために横断歩道上で歩行者を撥ねてしまった。この事故により歩行者が重傷を負った。

【事故の概略図】



事故の推定原因	対向車のライトと歩行者が重なってしまい、発見が遅れてしまった。 制限速度を超えて走行していた。
再発防止対策	信号機のない交差点内に進入する際は、横断歩道上の歩行者等に十分注意するとともに、対向車のライトがまぶしい等、安全が十分に確認出来ない場合は、徐行若しくは一時停止をする等して安全確認を徹底する。 制限速度の遵守。